

4. 【地区研究会のお知らせ】

村研関東地区研究会のお知らせ

日時： 1998年6月20日 午後1時30分～5時

会場： 東京大学法文1号館115号教室（東大正門入って左側2つめの建物）

共通テーマ： 「日本村落社会の捉え方について」

趣旨： 世紀末にあたり、20世紀の農村社会を再検討し、来世紀を展望するための勉強会をもつことにしました。日本農村社会の現状については、外国人の目から見た捉え方をガボリオ マリ会員に、社会理論については、日本社会学が生み出した最大の理論的成果といわれる有賀喜左衛門の同族理論の解説と意義を中野 卓氏に、それぞれご報告いただきます。蒸し暑い時期の開催ではありますが、ふるってご参加くださるようお願いいたします。

座長： 米地 実（専修大学）

報告者： (1) ガボリオ マリ（慶應義塾大学）

「日本村落社会の変容性と継続性」

(2) 中野卓（もと千葉大学）

「有賀喜左衛門の農家同族理論について」

問い合わせ先： 矢野晋吾

大学e-mail：895a5061@mn.waseda.ac.jp

西日本地区研究会のお知らせ

日 時：6月6日（土）午後1時～午後5時

場 所：同志社大学徳照館1F会議室

京都市烏丸今出川北東角、地下鉄今出川駅下車すぐ

報告者と話題のテーマ：

1. 「地域介護ネットワークの構築－過疎地の限られた人材を活かす－」（仮題）
玉里恵美子（高知女子大学社会福祉学部）
2. 「介護保険制度推進にあたっての問題点と解決の方向」（仮題）
北川憲司（滋賀地方自治研究センター）

今年の村研大会は農村の高齢者問題を共通テーマに設定しています。そこで、西日本地区でも、大会に向けて上記のような研究会を企画しました。

話題提供者の玉里さんは、日本でも有数の過疎化・高齢化地域である高知県で高齢者問題、福祉問題を研究されています。

北川さんは滋賀県彦根市で介護保険制度を担当しておられ、国から市町村に至るまで高齢者福祉行政の実状に大変詳しい行政マンです。40分もののビデオも用意してくださるそうです。

多くの皆さんの参加と討論を期待しております。またこの件に関する問い合わせは池上までお願いします。

地区研究会担当：池上甲一

問い合わせ先：〒631-8505 奈良市中町3327-204 近畿大学農学部

TEL：0742-43-7273(Ex.3556) Fax：0742-43-1593

E-mail：ikegami@nara.kindai.ac.jp

北海道地区研究会のお知らせ

担当：大野

日時：6月13日（土）1時30分～5時

場所：北海学園大学大学院棟5階 経済研究所

報告者とテーマ

1. 北海道農業・農村の現状と高齢化問題
大野晃（北見工大）
2. 北海道における高齢者家族の問題
笹谷春美（北海道教育大学札幌校）